医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	夫の育休取得が母のボンディングに与える影響（単施設後方視的コホート研究）
研究責任者	聖隷浜松病院　産婦人科　山田拓馬
研究実施体制	単施設の後方視摘研究　データは聖隷浜松病院から集積する
研究期間	臨床研究審査委員会承認日　～　2030 年　3 月　31 日
対象者	2023 年 1 月～2024 年 12 月に当院で出産され、産後 1 か月健診を受けられた方の中で、旦那さんの育休取得についての情報がある方
研究の意義・目的	母子ボンディング障害は、養育ストレスの増大、育児行動の困難、児の情緒・発達への影響など多面的な帰結をもたらす重要な臨床課題です。先行研究では、父親の育休取得が父親側のボンディングを高め得ることが示唆されている一方で、母親のボンディングに与える影響を直接検証した研究はほとんどありません。本研究は、夫の育休取得（有無・日数）と母のボンディングとの関連を検討し、その効果量を推定します。MIBS-J（母親―乳児ボンディング尺度　日本語版）を用いた評価指標・時点（産後 3 日・2 週・1 か月）を明示し、交絡調整および感度分析を併せて実施します。育休取得の有効性が高い集団を探索する目的で層別解析を実施して、交互作用項も併用して効果修飾を評価します。
研究の方法	カルテ・診療録を用いた後方指摘コホート研究です。 対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 夫の育休取得の有無と取得日数、分娩後 1 か月健診での MIBS-J、周産期背景情報。 主要調整因子は事前に DAG で規定（既往精神疾患、年齢、職業の有無など）します。母のボンディングは産後 1 か月時の　MIBS-J　総得点（連続）で評価します。曝露は夫の育休取得（有無／取得日数）です。主要解析では、線形回帰モデルにより育休と　MIBS-J の関連を推定し、DAG　で事前規定した交絡因子を調整します。推定量は調整平均差（β）と 95%信頼区間を提示します。効果修飾として　育休×産後早期　EPDS（エジンバラ産後うつ病自己評価票）の交互作用を評価して、層別解析も実施します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院　産婦人科（氏名）　山田拓馬

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

（研究承認番号：　5003　　）　　2025 年　10 月　22 日承認

	TEL:053-474-2222(代表) 産婦人科外来　9:00～17:00 平日

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会
（研究承認番号：　5003　　）　　2025 年　10 月　22 日承認